

とちぶん会報 No.76

2024年7月1日

栃木県文芸家協会 発行人 福田 三男

事務局／栃木県宇都宮市立伏町 462-56 吉田方

役員会及び令和6年度定期総会を開催

役員会が、4月13日(土)午後1時30分から宇都宮市中央生涯学習センターにおいて開催されました。役員及び役員候補が出席し、令和6年度総会審議案件が審議され、出席者に了承されました。

令和6年度栃木県文芸家協会総会が、5月19日(日)午後1時30分からコンセーレにおいて開催されました。福田会長が議事進行を務め、会員21名が出席いたしました。

以下、予定された審議事項

①令和5年度栃木県文芸家協会事業報告 ②令和5年度栃木県文芸家協会収支決算報告 ③令和6年度栃木県文芸家協会事業計画 ④令和6年度栃木県文芸家協会収支予算 ⑤その他(夏季講演会、秋季懇親旅行等)については、事務局からの説明があり、審議のうえすべて原案のとおり承認されました。

【令和6・7年度 役員】

*アンダーラインは新任

- ◇ 会長 福田 三男(小説)
- ◇ 副会長 高杉 治憲(小説) 松林 厚子(随筆) 三上 博史(川柳)
- ◇ 理事 国母 仁(随筆) 藤田 香月(随筆) こやま きお(詩) 福澤 悦子(短歌)
- ◇ 事務局長 吉田 稔(小説)
- ◇ 会計 永井 想(小説)
- ◇ 監事 相馬 龍久(創作) 古谷 耀子(随筆)
- ◇ 顧問 高田 太郎(詩)

【令和6・7年度 『朝明』編集委員】

*アンダーラインは新任

- ◇ 編集顧問 三上 博史(川柳)
- ◇ 委員長 こやま きお(詩)
- ◇ 委員 国母 仁(随筆) 藤田 香月(随筆) 福澤 悦子(短歌)

※ 上記5名に、高田顧問、福田会長、高杉副会長及び松林副会長の4名が加わり計9名の構成。

夏季講演会及び暑気払い・懇親会を開催します

今年度の夏季講演会及び暑気払い・懇親会は、8月18日(日)に開催します。会員の積極的な参加をお願いいたします。

- 日時 令和6年8月18日(日) 午後1時30分～3時
- 会場 栃木県教育会館中会議室(コンセーレ隣) 宇都宮市駒生 1-1-6 / TEL 028(621)7177
JR宇都宮駅方面から関東バス「作新学院駒生」行きに乗車し「東中丸(コンセーレ前)バス停」下車 *無料駐車場有
- 講師 田巻 松雄先生
- 演題 「共生の理念と意味を考える 下層の人々に注目して」

講師略歴／北海道夕張市生まれ。宇都宮大学名誉教授。社会学博士。2010年度から2021年度まで宇都宮大学 HANDS 事業代表者。2013年4月から2017年3月まで国際学部長。2019年4月から2021年3月まで大学院多文化共生学プログラム長。国際社会論や地域社会論を担当。主な著作に、『世界ホームレス百科事典』(監訳、2007年)、編著『夕張

は何を語るか』(吉田書店、2013年)、『未来を拓くあなたへ「ともに生きる」社会を考えるための10章』(下野新聞社、2017年)『ある外国人の日本での20年』(下野新聞社、日本語版2019年、英語版2022年)、編著『多様な学びの場をつくる』(明石書店、2024年)等。2021年3月に「とちぎに夜間中学をつくり育てる会」を立ち上げる。現在は主に、夜間中学を含む多様な学びの場をつくり育てる活動と研究を行っている。

○ 懇親会 講演会終了後、午後3時30分からコンセーレにて、暑気払いを兼ねた懇親会を開催します。

※ 会費5,000円(当日支払い)。無断キャンセルした場合は実費を請求します。

※ 同封した出欠の返信ハガキを、8月5日(月)までに事務局宛に必ず郵送してください。

11月10日～11日に秋の懇親旅行(南平台温泉ホテル)

今年度の事業計画にあるとおり、秋の懇親旅行を実施します。日程は、11月10日(日)～11日(月)の1泊2日、宿泊先は馬頭温泉郷の南平台温泉ホテルです。尚、今回は、併行して11月10日(日)の日帰りコースも同時開催します。お子様同伴も大歓迎です。

費用は1泊2日が、再開した演劇観覧料を加えて税込@14,000円です。日帰りコースは昼食、温泉入浴、演劇観覧、他にゲーム代も含めて@7,000円で、お子様(5歳以上小学生まで)は@3,000円です。申し込み方法などの詳しい内容は、次号(10月10日発行予定)でお知らせします。

第1回編集会議を開催・『朝明』第13号発刊へ

6月21日(金)午後3時から、おかりやにおいて朝明第13号発行に係る第1回編集会議を開催しました。7名の委員が出席しました。

特集テーマについては、各委員から様々な意見が提示され、これらについて活発な議論が行われました。最終的には「かけがえのない言葉」と決まり、表紙については版画作品の写真を載せることとなりました。

資料に基づいて第13号の原稿提出要領が審議され、内容は前回のものに若干の修正を加えたものとなりました。また、前号と同様に第13号も冊子体を電子化(PDF)して、第14号の発行後(令和7年12月)、協会公式ホームページに全文アップロードすることが改めて確認されました。

作品の提出期限は9月末日です。別添要領に基づいて作成・提出してください。

令和6年度年会費の納入及び寄付のお願いについて

令和6年度の年会費(8,000円)納入を通知します。今回同封した所定の郵便局振替用紙にて、7月末までに納入をお願いいたします。

また年会費の納入と併せて、令和4年度から会員からの寄付を募ることにしています。1口1,000円で何口でも承ります。あくまでも任意ですが、協会の安定的な運営のために是非ご協力ください。

なお、振替払込受領証は領収書となるので、大切に保管してください。

★新会員紹介★

- ・小説 丕内七武 [塩谷町]
- ・詩 吹木文音 [宇都宮市]
- ・随筆 旭 秀幸 [宇都宮市]

◆事務局通信◆

今年度から事務局長を務めます吉田と申します。ふとしたきっかけで、5年ほど前から短編小説を書くようになり、創作の面白さと奥深さがわかってきたような…というタイミングです。前始末、事務作業、気配り、伝統、私にとってはすべてが難易度の高いことばかりの業務と察していますが、また何かのチャンスだと捉えて「これからのとちぶん」に、できる限りの貢献をしたいと考えています。

行き届かない点も多々あるかと思いますが、よろしく願いいたします。(吉田)